



平成19年3月期 決算説明資料

平成19年6月7日

トーイン株式会社



証券コード：7923

平成19年3月期 決算概要

注意

本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。

本資料に記載の金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

本資料に記載の前期比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当事業年度の業績は、包装資材事業については、食品市場向け紙器・ラベル及び化粧品市場向け樹脂パッケージが増加したことにより、売上高は前事業年度比9.9%増の8,774百万円となりました。精密機器関連事業は、精密塗工分野の新規取引先の開拓に注力し、高機能設備の導入により整備された生産体制を維持し、高品質製品の安定供給に努めてまいりましたが、既存取引先の精密塗工製品の在庫調整等に伴い受注が大幅に減少したことなどにより、売上高は前事業年度比14.3%減の1,968百万円となりました。

この結果、平成19年3月期の全体の売上高は、前事業年度比4.5%増の10,742百万円となりました。

収益面については、包装資材事業は、増収、生産性の向上及び生産量の拡大を図るとともに、原材料の海外調達などによる原価低減に努めてまいりましたが、生産体制の再編成や野田事業所の開設に伴い、減価償却費及び人件費等の固定費が増加したこと、原油価格の高騰に伴う諸材料等の価格上昇に対して販売価格の改定を充分に実施できなかったこと、また、精密機器関連事業は、精密塗工分野の売上が減少したことなどにより、営業利益は、前事業年度比99百万円減の77百万円となりました。経常利益は、前事業年度比112百万円減の38百万円、当期純利益は、前事業年度比718百万円減の56百万円となりました。

<当期のトピックス>

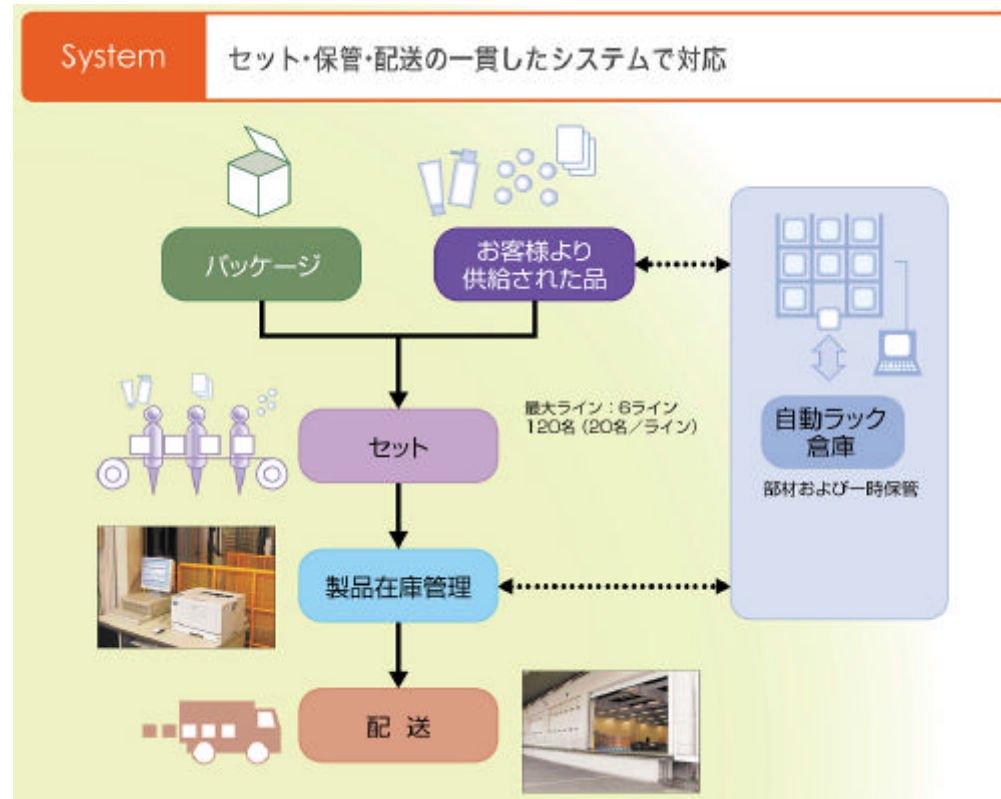
- 平成18年 4月 タイ・P S C社との関係強化および海外事業の基盤強化を図るため、当社の役員 2 名がP S C社の役員に就任する。
- 平成18年 5月 野田事業所を新設し、操業を開始する。
- 平成18年 8月 包装資材事業の生産体制の再編成を完了する。
 - ・ 柏第一工場を紙器専用工場とし、生産設備を整備・増強する。
 - ・ 柏第三工場を樹脂パッケージ専用工場とし、生産設備を整備・増強する。
- 平成19年 2月 内部統制システム構築の一環としてコンプライアンス委員会及びリスク管理委員会を設置する。

野田事業所の概要



Licenses 許認可

- ① 医薬部外品製造業許可
- ② 化粧品製造業許可
- ③ 食品製造業許可



平成19年3月期 損益計算書

(単位：百万円)

	当事業年度 (H19/3)		前事業年度 (H18/3)		対前年比	備 考
売 上 高	10,742	% 100.0	10,277	% 100.0	464	食品市場向け紙器・パル、化粧品市場向け樹脂パッケージの売上増
売 上 原 価	9,271	86.3	8,755	85.2	515	諸材料価格の上昇、減価償却費・人件費等の増加など
売 上 総 利 益	1,470	13.7	1,521	14.8	50	
販 売 費 及 一 般 管 理 費	1,393	13.0	1,344	13.1	48	
営 業 利 益	77	0.7	176	1.7	99	
営 業 外 収 益	30	0.3	40	0.4	10	
営 業 外 費 用	69	0.6	66	0.6	2	
経 常 利 益	38	0.4	151	1.5	112	
特 別 利 益	3	0.0	1,276	12.4	1,272	前期 南柏事業所の売却など
特 別 損 失	23	0.2	259	2.5	236	前期 固定資産除却損、棚卸資産整理損、減損損失の計上など
当 期 純 利 益	56	0.5	775	7.5	718	

平成19年3月期 貸借対照表



(単位：百万円)

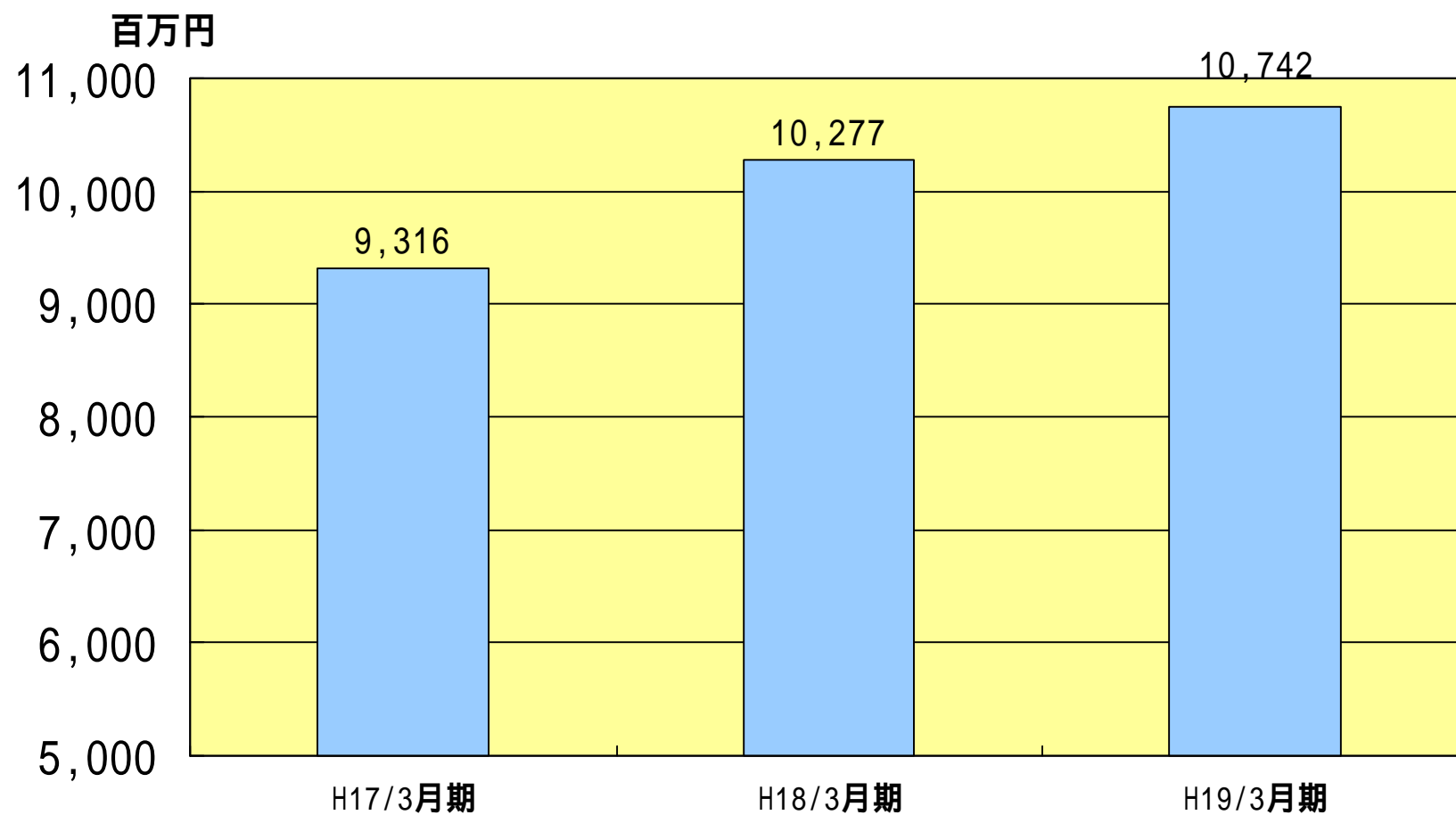
	当事業年度 (H19/3)		前事業年度 (H18/3)		対前年比	備 考
		%		%		
流動資産	6,315	40.0	7,073	43.5	758	現預金の減少
固定資産	9,473	60.0	9,203	56.5	270	
有形固定資産	7,346	46.5	7,113	43.7	232	生産設備の増強、野田事業所の改修
無形固定資産	39	0.3	32	0.2	6	
投資その他の資産	2,087	13.2	2,057	12.6	30	
資産合計	15,788	100.0	16,276	100.0	488	
流動負債	3,961	25.1	4,400	27.0	438	設備購入未払金・設備購入支払手形の減少
固定負債	2,542	16.1	2,546	15.7	4	
負債合計	6,503	41.2	6,947	42.7	443	
株主資本	8,927	56.6	-	-	-	
資本金	2,244	14.2	2,244	13.8	0	
資本剰余金	2,901	18.4	2,901	17.8	0	
利益剰余金	4,238	26.9	4,275	26.3	36	
自己株式	457	2.9	462	2.9	5	
その他有価証券評価差額金	-	-	370	2.3	-	
評価・換算差額等	356	2.2	-	-	-	
純資産合計	9,284	58.8	-	-	-	
負債 純資産合計	15,788	100.0	-	-	-	
資本合計	-	-	9,329	57.3	-	
負債 資本合計	-	-	16,276	100.0	-	

キャッシュ・フロー計算書

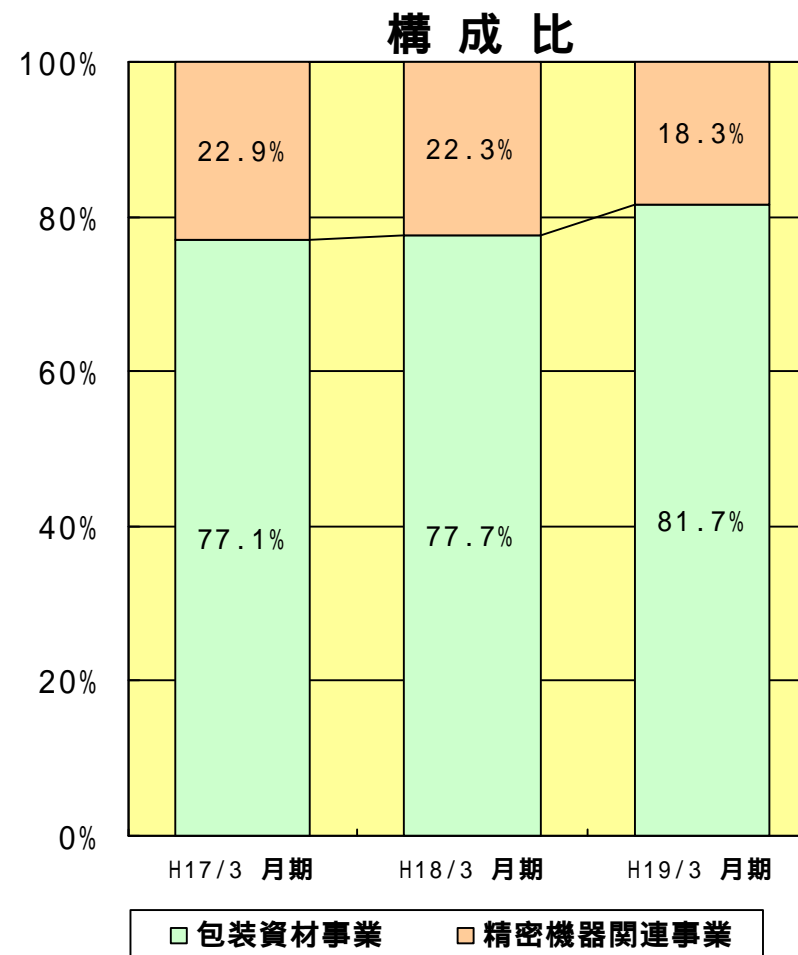
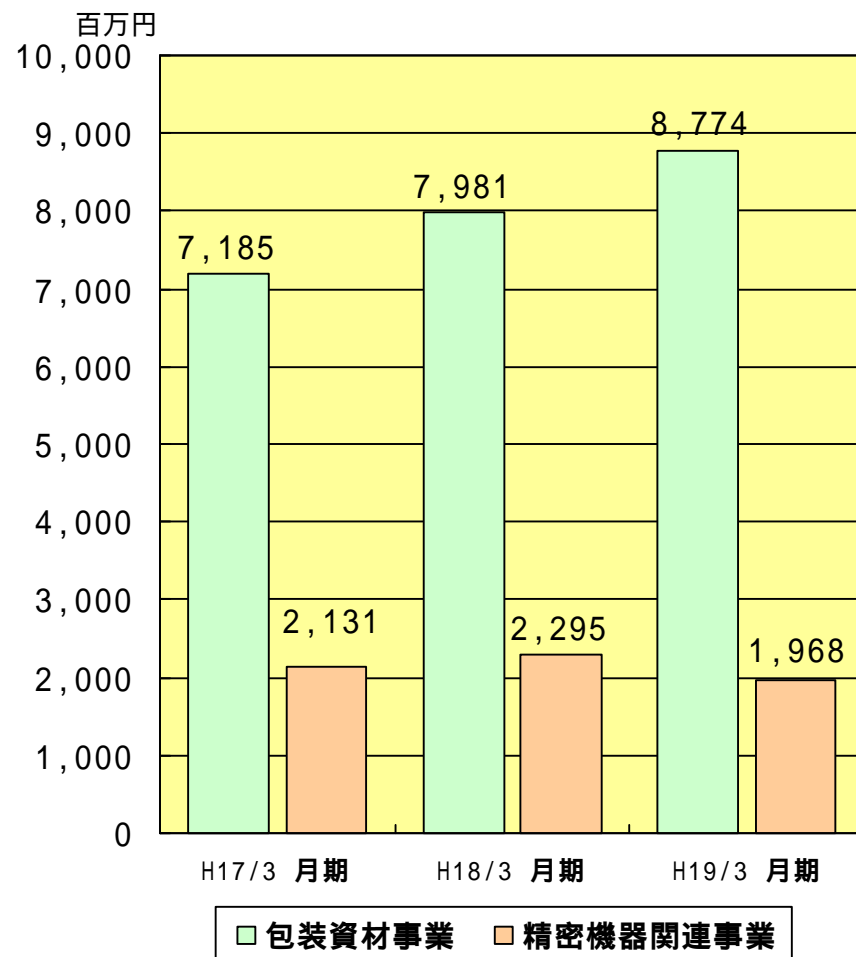
(単位：百万円)

	当事業年度 (H19/3)	前事業年度 (H18/3)	当事業年度の特記
営業活動による キャッシュ・フロー	692	964	減価償却費 946百万円 棚卸資産の増加 204百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	1,710	343	有形固定資産取得 による支出 1,645百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	162	529	長期借入金の純増額 257百万円
現金及び現金同等物 の増減額	855	90	
現金及び現金同等物 の期首残高	2,717	2,626	
現金及び現金同等物 の期末残高	1,861	2,717	

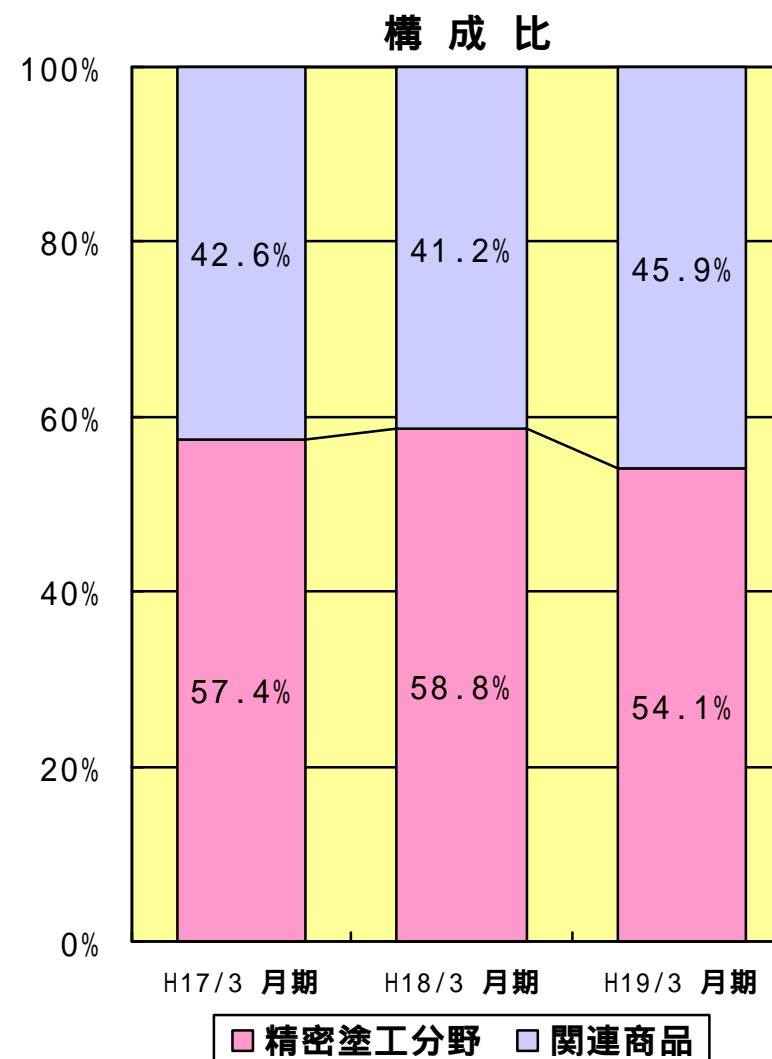
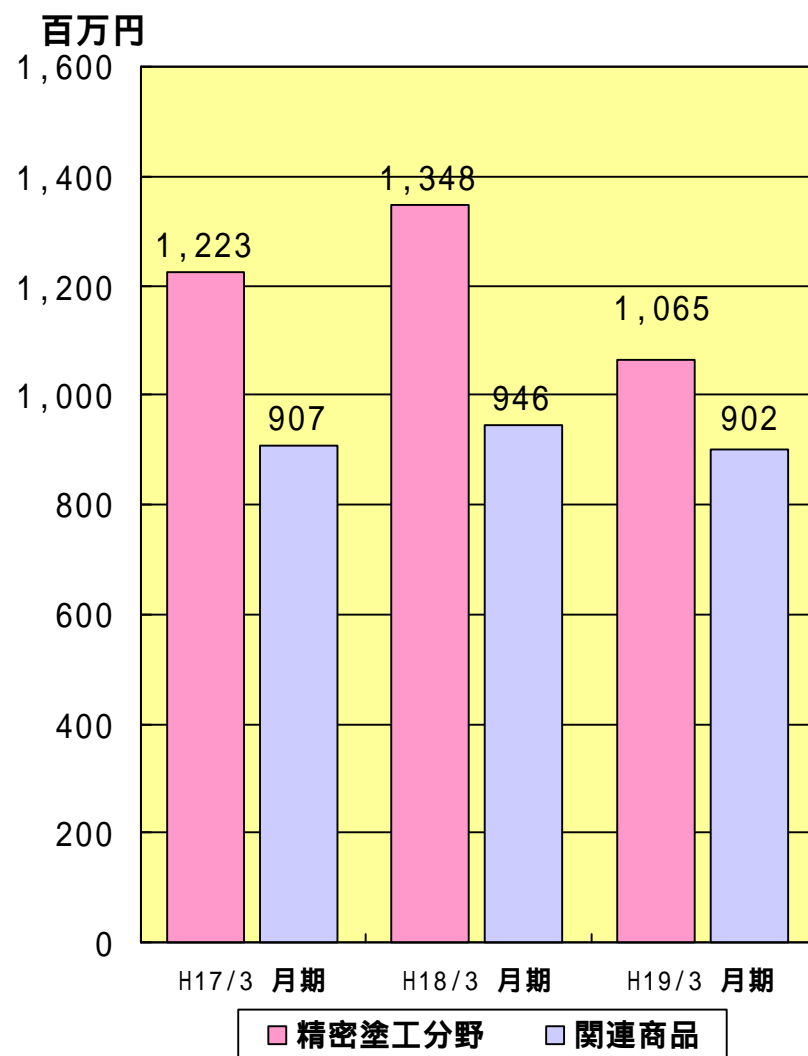
売上高の推移



事業別 売上高

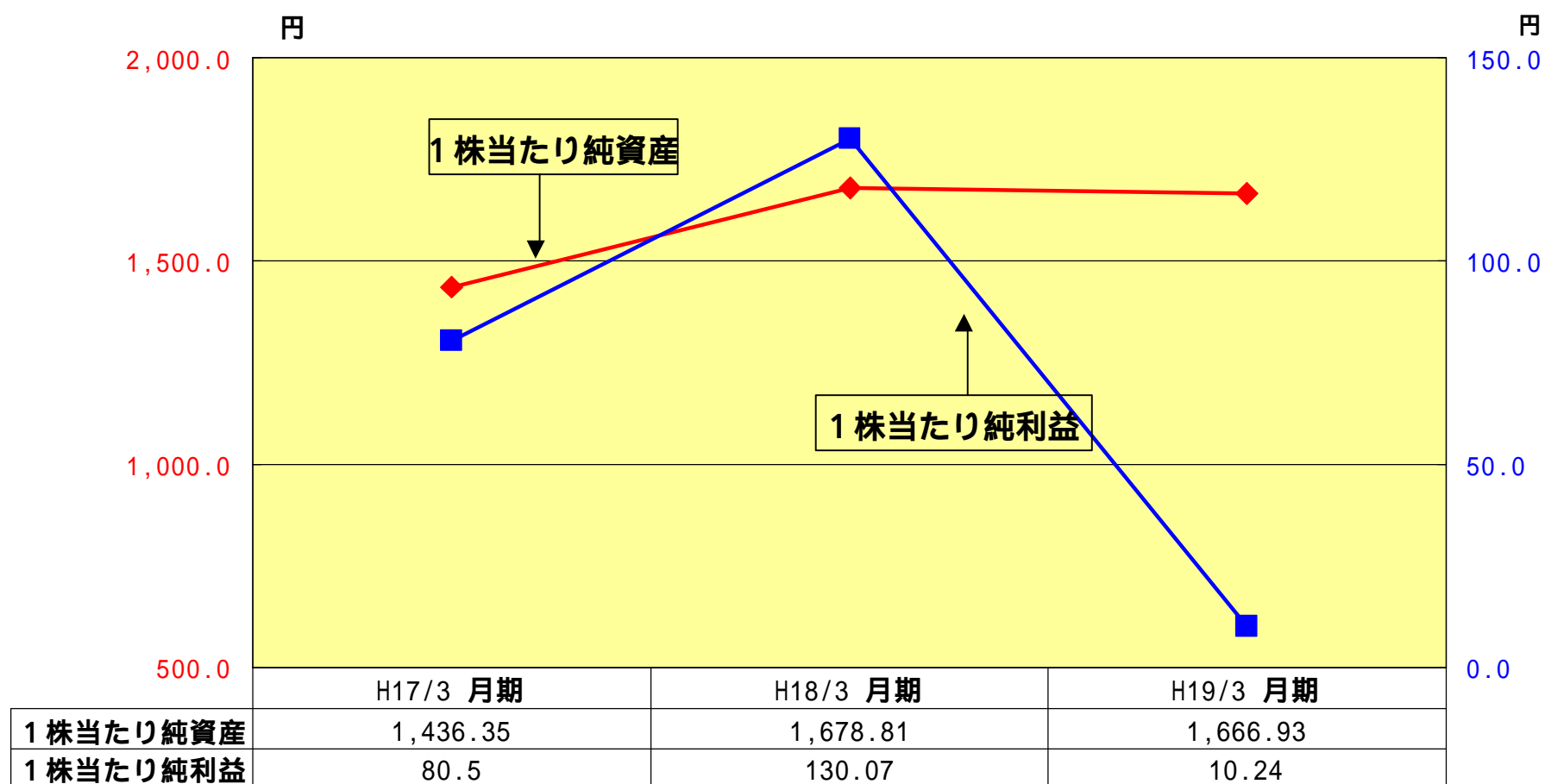


精密機器関連事業売上高の内訳

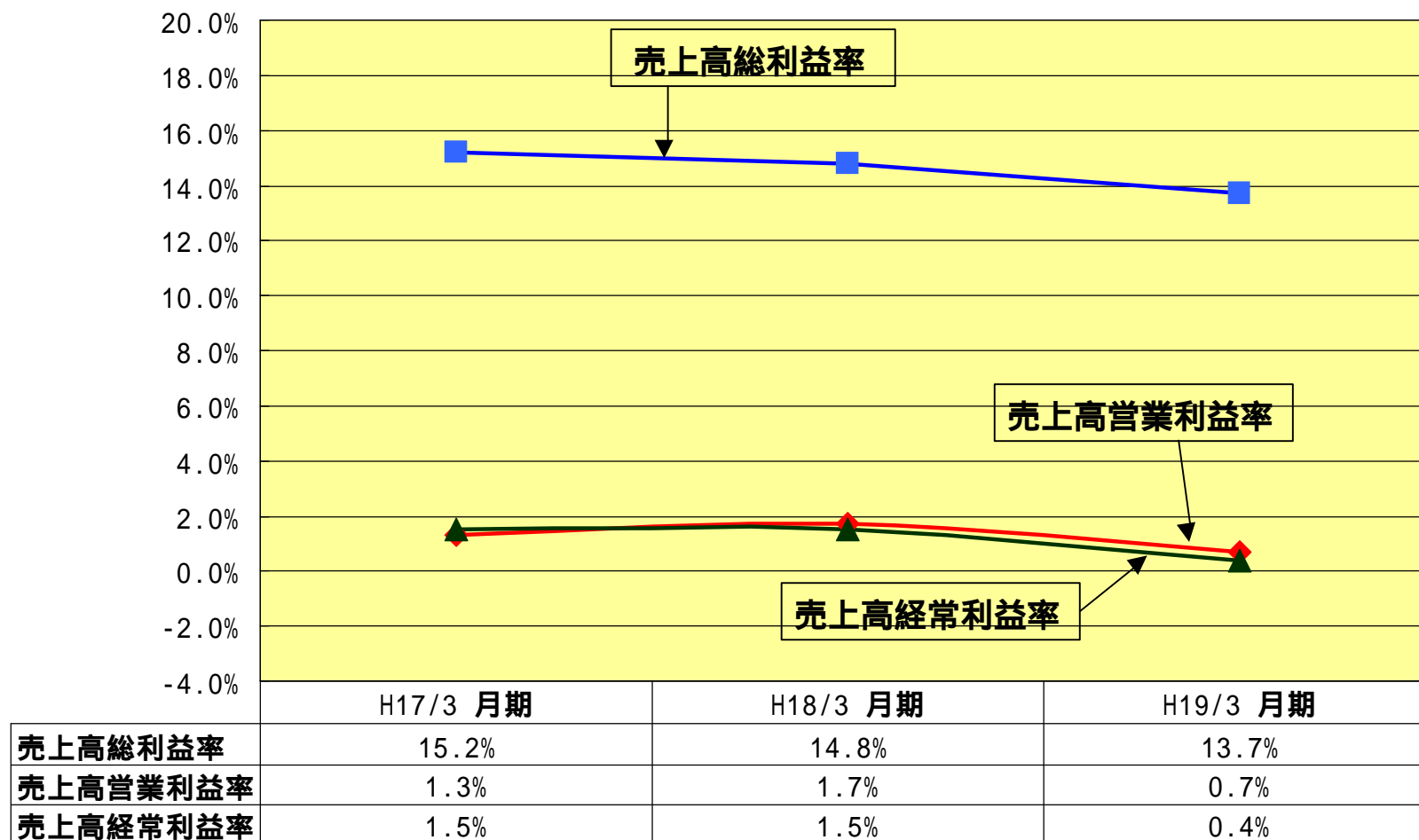


経営指標

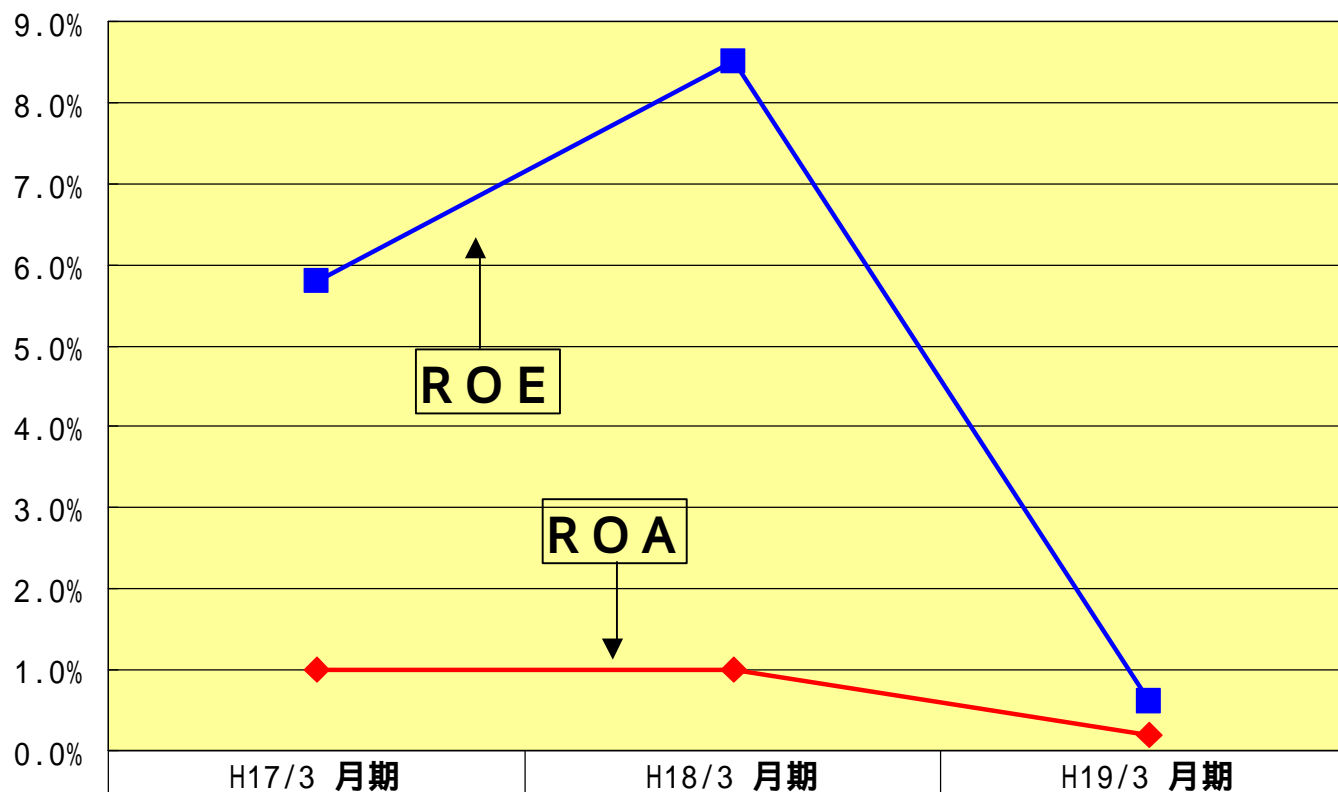
経営指標



経営指標



経営指標



ROA(総資本当期経常利益率)	H17/3 月期	H18/3 月期	H19/3 月期
	1.0%	1.0%	0.2%
ROE(株主資本当期純利益率)	H17/3 月期	H18/3 月期	H19/3 月期
	5.8%	8.5%	0.6%

平成20年3月期 業績予想

平成20年3月期の業績予想について

今後の国内経済は、好調な企業収益に支えられて設備投資の拡大や個人消費の回復など堅調に推移することが見込まれますが、原材料価格の高騰の影響や海外経済の動向など先行き不透明な要因もあり、厳しい経営環境が続くことが予想されます。このような中、包装資材事業については、お客様へのサービスの充実やお客様のニーズにあった新規性の高い企画提案型の営業活動の展開、新規客先の開拓の推進並びに適正価格の改善に努めてまいります。また、海外関連会社との連携を深め、製品及び原材料の海外調達による原価低減を推進するとともに、フレキシブルな生産シフト体制の編成や省人化・省力化設備の導入による生産効率の向上と品質管理体系の定着化による品質の一層の安定化を図り、客先との取引慣行の改善、省資源・省エネ等の収益性に寄与する環境活動などへの取り組みを中心に、収益基盤の更なる強化に努めてまいります。

精密機器関連事業については、精密塗工分野の主要な取引先である電子関連産業では需要動向に応じて生産調整・在庫調整等が行われるなど受注面での不安定な要因があることから、新規客先及び新規分野の需要先を積極的に開拓し、安定的な受注の確保に努めるとともに、生産管理及び品質管理体制をさらに充実・整備し、生産量の拡大と高品質製品の安定供給を図ってまいります。

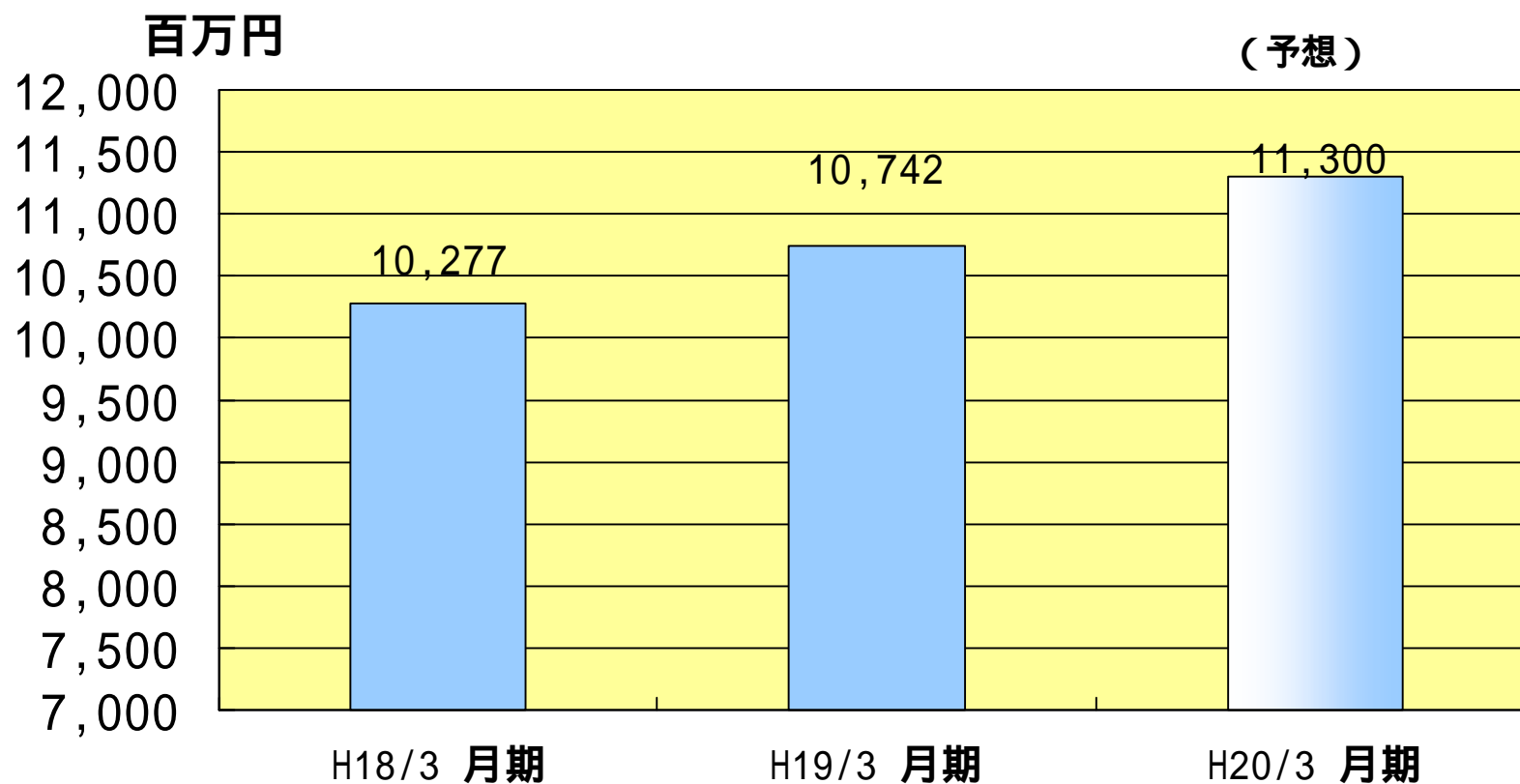
この結果、次期の業績見通しは、売上高11,300百万円、営業利益250百万円、経常利益220百万円、当期純利益170百万円を見込んでおります。

平成20年3月期の業績予想

(単位：百万円)

	上期(予想)		下期(予想)		通期(予想)	
		%		%		%
売上高	5,600	100.0	5,700	100.0	11,300	100.0
営業利益	110	2.0	140	2.5	250	2.2
経常利益	100	1.8	120	2.1	220	1.9
当期純利益	80	1.4	90	1.6	170	1.5

通期売上高

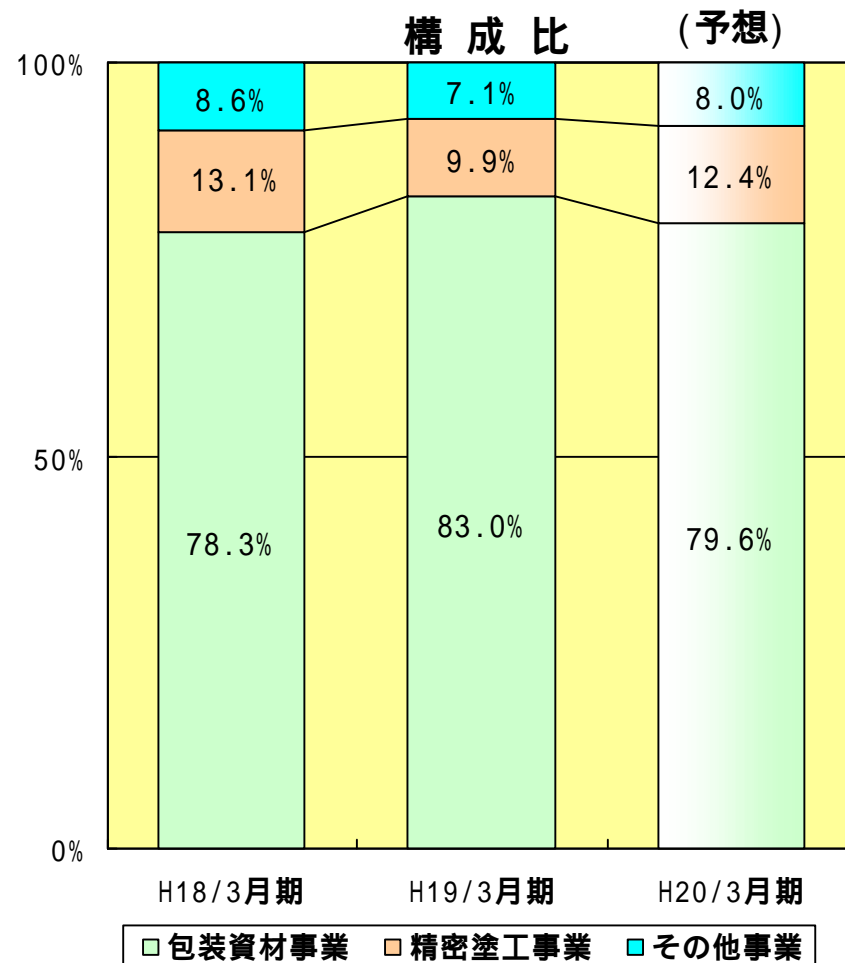
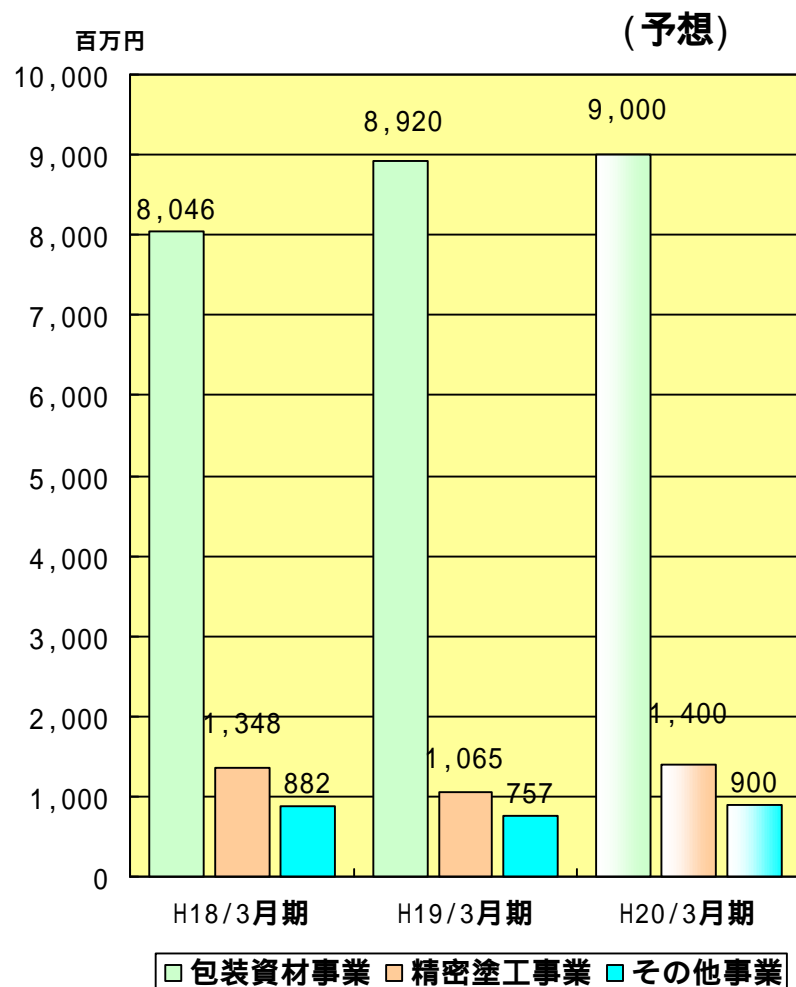


事業区分の変更について

事業区分について、平成19年3月期までは「包装資材事業」「精密機器関連事業」の2区分で表示しておりましたが、事業内容が多様化するとともに精密塗工事業の重要性が増してきたことに伴い、事業区分別情報の有用性を高めるため、平成20年3月期から以下の3区分に変更いたしました。

- ・「包装資材事業」
- ・「精密塗工事業」
- ・「その他事業」

事業別 売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

< 経営理念 >

- | | |
|-----------|----------------|
| ・ お客様に学べ | それが社会への貢献につながる |
| ・ 技術革新に挑め | それが会社の発展につながる |
| ・ 夢と利益を追い | それが皆の幸福につながる |

企業行動規範

私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。

私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。

私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。

私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。

私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。

私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。

私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。

私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。

私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。

私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーイン株式会社

本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1

TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2

TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5

TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

本資料に関するお問合せ

経営企画部門 TEL : 03-5627-9111 FAX : 03-3638-1131